

食と農が軸となり暮らしの中心となる地域社会の実現

「食と農」を基軸としたJAくらしの活動の展開を図り、助けあいによる地域セーフティネットの構築を推し進めます！

JA食農教育活動の推進

○食の大切さや食文化、食を支える農の役割等について理解を深める、あぐりスクールや農業体験学習、教材本贈呈を実施し、また活動を通じて地域とJAを結びつけ、「食と農」の仲間づくりを進めます。

地場産農産物の供給

○食の安全・安心対策や、みんなの良い食プロジェクト等と連動した地産地消運動を展開し、学校給食やJA介護施設、厚生連病院等への地場産農産物の提供を行うほか、直売所への活動支援を実施し、食の情報発信に努めます。



▲小学校へ「食と農」に関する教材本を贈呈



▲ミニデイサービスを通じて地域住民と交流

元気高齢者への取組み

○健康寿命創造のため、運動、食事、健診・介護・医療の3つを組み入れた「JA健康寿命100歳プロジェクト」の展開を通じて、高齢者の健康づくりと介護予防、生きがいづくりに向けた取り組みを行います。

助けあい活動を軸とした

○助けあい組織等による、ミニデイサービス・配食サービス・安否確認などの生活支援活動を推進すると共に、介護保険事業ではカバーできない部分への対応として、通院介助や福祉タクシーなどのJA高齢者生活支援事業の強化を進めます。

地域に根ざった組合員を回さるJA事業・経営の展開

組織再編と支店機能強化による経営基盤の強化を図り、環境変化に対応した事業展開と経営管理の高度化を実践します！

JA組織再編の推進

○組合員・地域の多様なニーズに対応できるよう、引き続き県内5JA化に向け、組織再編を推進していきます。

地域に密着した活動の取組強化

○地域住民からの信頼を維持・向上させるため、支店を拠点とした活動の取組強化・渉外活動の充実を図り、関係強化に努めて地域住民が参画する仕組みづくりを進めます。

事業別戦略の策定・実践

○営農経済事業では、担い手対応をさらに強化し、販売先のニーズに対応した契約栽培や生産振興を推進し、生産コスト低減に努めます。

○信用事業では、「利用者視点」の事業展開を推し進め、安定的な事業基盤の確立と、信用事業利益の維持・向上を目指します。

○共済事業では、地域に根ざした利用者との繋がりにより、ニーズに沿った保障提案・提供、利便性の向上を目指します。

○厚生事業では、医療施設・機器・従事者の確保を図り、安心して受

けられる医療提供体制の充実に努めます。

JA経営の健全性の向上

○計画経営の徹底で目標利益の確保を目指し、コンプライアンス態勢の強化による不祥事未然防止と、自己資本の基準や信用事業部門からの他部門への運用基準等法令規則遵守に取り組みます。

役職員の意識改革と人材育成の実践

○利用者満足の視点に立ったJA運動を展開するため、役職員各々がJA理念を理解し、実践できる「人づくり」に取り組みます。



▲JA事業に組合員の意見を反映させる通常総代会